

(別紙様式)

平成 29 年度「いわて中山間賞」候補調書

集落等の名称		ふりがな かみどおり				
		上通集落				
集落等の状況	市町村	一関市 (花泉地域)				
	代表者 氏名・住所	氏名	熊谷 誠		住所 一関市花泉町	
	地域の農用 地面積	計	田	畑	草地	採草放牧地
		3,278a	2,726a	22a	a	530a
	構成員	世帯数	構成人数	うち 農業者	うち 非農業者	うち 女性
29戸		29人 (組織)	24人 (組織)	人	2人	3人
農用地の作 付け状況	計	水稻	飼料作物			その他
	3,278a	2,726a	530a	a	a	22a
集落等の概況等	集落等の概況	<p>本集落は、一関市花泉町日形の西部で北上高地の南端に位置し、周囲は小高い山に囲まれ、水稻、和牛繁殖を中心として複合営農が展開されている。</p> <p>上通-1、上通-2、上通-3、上通-7の4つの集落協定が第1期(平成12年度)から中山間地域等直接支払制度に取り組み、第2期(16年度)の開始時に農地の維持、稲作作業の共同化を目的に統合された。18年度にはさらなる農地保全のため緩傾斜地まで対象農地を拡大した。第3期(22年度)に、中通-1集落と統合し、農作業の共同活動を拡大して実践している。</p>				
	集落等の組織体制図					
	将来の 目指す姿	<p>本集落は、住民の高齢化、若者世代の減少が進んでおり、農作業の共同化、生活環境の維持・保全など、集落ぐるみで取り組むことが不可欠である。このため、農業生産活動、地域づくりのいずれの面についても、自助だけではなく互助・共助の活動が自発的に行われることを将来の姿として目指しており、このことは構成員全員で共有し、活発な取組に繋がっている。</p>				

集落等の概況等	地域の活性化の取組内容	<p>1 地域の活動のきっかけ</p> <p>上通集落では、第2期中山間地域直接支払制度の開始時に、第1期の4つの協定が話し合った結果、個別完結型農業から脱却し、集落ぐるみの農業生産活動等を行うため統合したことが、活動のきっかけとなっている。</p> <p>2 地域の活性化に向けた取組活動の特徴と成果</p> <p>① 農業生産活動の継続に向けた活動</p> <p>上通集落を含む日形地区では、経営体育成基盤整備事業（H21～30年度：受益面積118ha）を実施し、平成25年度に面工事が完了した。</p> <p>このことを契機に、平成27年度から、上通集落の認定農業者3名を担い手として指名し、水稻の共同育苗及び米の乾燥調製等、機械・農作業の共同化を進めた。</p> <p>平成28年度には、農地中間管理事業を活用し、担い手3名に利用権設定により農地を集積し、集落内の全面積で水稻作業を委託した。また、担い手以外の農業者も、互助・共助のもと積極的に畦畔の草刈、水管理など農作業の支援に取り組んでおり、この結果、上通集落では水田の耕作放棄地ゼロを達成している。</p> <p>なお、高齢者が草刈作業等をできない場合は、5～9月に集落内全員で草刈作業を代わって行う等、集落として高齢者への支援体制を確立している。</p> <p>また、休耕田の再利用として牧草を栽培し、集落内の和牛繁殖農家に供給している。</p> <p>② 多面的機能を増進する活動</p> <p>集落際の林地の整備として、集落全員で伐採、雑木の整理を行うとともに、上通集落内の水路から須釜大堤までの1.3kmについて用水路の泥上げ、法面の点検、県道市道沿いの草刈、農道への砂利敷等を行っている。</p> <p>また、日花里保全振興会と連携し、作業区画を分担し水路の泥上げ作業を行っている。水路は、土側溝であったが、平成28年度にはコンクリート側溝に改良し、農作業の効率化が図られている。</p> <p>農村環境の美化活動として、平成24年度から6名の女性が参加し、転作田3ヶ所（20a）へヒマワリ、菜の花などの景観作物、栽培に不適な水田に蓮、集落内に花壇を植栽し、生活環境保全・美化を行っている。種まき、草取りの際には、非農家も協力して一緒に行っている。</p> <p>③ 地域活性化及び地域環境保全に向けた取組</p> <p>毎年、日形地区で行われる夏祭り（7月）、日形公民館まつり（11月）では八木節の披露など、集落として健闘している。</p> <p>毎月、市の保健師による健康相談に合わせて、女性部が交流を兼ねて紙細工や花の寄せ植え等を作る活動をしており、作品は、日形公民館まつりで展示している。</p> <p>集落全体で子供や老人なども交え、毎年、7月にバーベキューを開催し、世代交流の場となっている。</p> <p>平成27年度から、集落で都市部等の学生の受入を行っている。</p> <p>集落で管理してきた山の竹林にあった神社について、将来にわたり集落で維持できるよう、本年7月、集落の集会所近くに「上通り天満社」として移設した。</p> <p>3 今後の課題と将来展望</p> <p>住民の高齢化や若者世代の減少から、今後も農業生産を継続できない農家が増えることが懸念される。</p> <p>このことから、日形地区全体での担い手（日形ブレッドウィナー）による法人を設立することを検討しているほか、地元を離れた若者に農作業への協力の呼びかけを行っている。</p> <p>また、水稻の育苗ハウスを利用し、高齢者も交え、野菜苗ポット栽培など、所得向上にも挑戦したいと考えている。</p>
---------	-------------	--

集落の活動写真



栽培に不適な水田に植栽した蓮



転作田の景観作物ヒマワリ



集会場の桜の植樹の様子



共同草刈作業の様子



集落のバーベキューによる交流の様子



日形公民館まつりの八木節の様子